

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)千代2丁目マンション	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市博多区千代2丁目163	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	168 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年1月 予定	評価の実施日	2015年11月1日
敷地面積	1,194 m ²	作成者	大川 忠臣
建築面積	672 m ²	確認日	
延床面積	7,242 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
共同住宅は良好な住環境を形成できるよう計画し、テナント部分も利用者が利用しやすいようなアプローチ計画とした。	
Q1 室内環境 共同住宅の配置を中廊下型とし、住戸のプライバシー性が高い。	Q3 室外環境(敷地内) アプローチに中木を配置し、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー 外壁、屋根、床等に断熱処理を行い、建築物の断熱性、気密性を向上させている。	LR3 敷地外環境 建物利用者のために適切な駐車台数、駐輪台数を確保している。
Q2 サービス性能 共用部の面積を極力抑えることでゆとりある住空間を確保した。	
LR2 資源・マテリアル シックハウス法に基づき、建材等には有害な化学物質を含まないものを使用している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される